

# E・V購入 91%が前向き

次世代自動車振興センター  
および日本カーライフアシスト  
(平間研司社長、東京都港区)  
は、教習所に通う若者を  
対象に電気自動車(EV)、  
プラグインハイブリッド車  
(PHV)に関する意識調査  
を実施した。それによると、  
91%の人がEVの購入を前向  
きに検討していることが分か  
った。また「EVの魅力はど  
こか」という質問に対しては  
「静かさ」や「加速感」など  
乗り味を挙げる人が多かつ  
た。

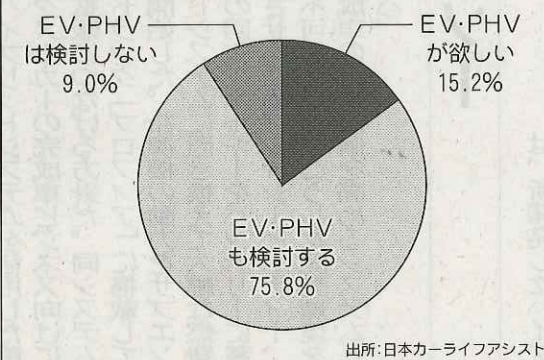
## 教習所で意識調査

次世代自動車振興センター  
日本カーライフアシスト

EVなど次世代自動車の普

及を促進する同センターは、  
若い年齢層の人にもEVを知  
ってもらうことを目的に13年  
11月に全国9カ所の教習所で  
イベントを開催。EV・PH  
Vの走り心地を体験してもら  
うほか、充電方法や充電設備  
設置の補助金制度などについ  
てレクチャーした。アンケー  
ト調査はイベント後に実施。

クルマを購入するとしたらEV・PHVを検討するか？



回答数は486人。年齢別構成比は20歳未満が29.6%、20～25歳が19.4%、26歳以上が51.1%だった。参加後の感想は、69.5%が「EV・PHVに乗って感動した」、66.3%が「興味がわいた」と回答。また「静かさ」(90.6

## 乗り味魅力 情報発信が重要

%)や「振動の少なさ」(52.2%)、「加速感」(30.2%)といった乗り味の魅力を感ずる回答者が多かった。一方、「ランニングコストが低い」(23.3%)、「税金の安さ」(9.8%)と、経済性の高さを挙げた人は少数だった。

参加者の69.8%は「1年内の購入を予定していない」ものの、購入時には「EV・PHVが欲しい」と答えた人が15.2%、「EV・PHVの購入を検討する」と答えた人が75.8%と、9割を超え前向きな姿勢をみせた。

イベントを運営した日本カーライフアシストの平間社長は「体験させることで良さが伝わるのが分かった。EV普及には若者に情報発信することも重要」とした。